

あとがき

東金市文化財審議会委員 近藤 正

みなさんは、自分の住んでいる地区の昔のことを誰かに聞いたことがありますか。また東金の歴史についても、知りたいと思ったことがありましたか。それはどんなことだったでしょうか。私が、国民学校四年生のときに「郷土研究の時間」がありました。先生に連れられて、何度か校外学習に出かけました。郷土に残る史跡しせき（歴史上の事件や施設のあった場所）をたずねて、郷土の歴史にふれるよい機会となりました。

東金城のあった城山へ登って、先生から東金酒井氏のことや落城の様子などの話を聞きました。本漸寺の本堂うらのほら穴をこわごわのぞきこんだり、昼鐘ひるかねの伝説を聞いて顔を見あわせました。台畑に残る茶の木に、大野茶園のころをしのび、お成り道にそびえる松の太木に目をうばわれたりしました。このときから、私は郷土の昔に興味を持つようになり、歴史がすきになったのです。昭和五十九年に東金市教育委員会が、「郷土歴史学習会」を計画しました。市内の小学生に郷土の昔のことを知ってもらう目的で、各地の主な神社・寺院・史跡・文化財などを見学してまわりました。私もコースを決めたり、案内するなどの仕事にたずさわりました。

参加者からは、「東金にもたくさんのお史跡や文化財のあることを知って驚いた。」「東金が歴史の古い街だったことにほこりを持った。」「自分でも郷土の昔のことを調べてみたい。」「という感想がありました。

実際に史跡を見聞いたことで、東金の歴史に興味がわき、郷土愛の心がめばえたようでした。

それでは、みなさんが郷土の歴史を調べるには、どうしたらよいのでしょうか。

それには昔のことをよく知っている古老ころうといわれるお年寄としよりから話を聞いたり、史跡をたずねてその土地の人に教えてもらう方法もあります。郷土資料館や博物館を利用することも考えられます。また郷土史関係の専門書から、参考となる資料をさがして、それを手がかりにしていくことも考えられます。

そのためには図書館にある地方史（郷土史）関係の専門書を利用するとよいでしょう。

東金図書館にも郷土の昔のことを調べるために、熱心な小・中学生がおとずれるようです。

私も、以前夏休み期間に「相談コーナー」を設けて参考書さがしを手伝ったこともありましたが、ところが、専門書は大人向けに書かれていて、難しいものばかりです。

そこで、子どものために書かれた「東金の歴史」の本が待望されていました。その願いがかない、ついに本書が出版されることになったのです。

この本は、東金の歴史についてのたくさん資料の中から、小・中学生向きの項目を選び出し、現職の小学校の先生の協力を得て、出来るだけやさしい文章にまとめました。

こうして出来た『われらのふるさと 上総の東金』は、これからみなさんの郷土研究のための手引書となって、きっと役立つこととなるでしょう。

そして、実際に史跡をたずねるときや東金の歴史を知るために活用してください。

編集にあたった方々

東金市教育委員会教育長 廣瀬 雅哉

執筆者

東金市文化財審議会委員 吉井 永

〃

近藤 正

協力者

東金市立東小学校教諭 福島 邦英

元東金市立鵜嶺小学校教諭 伊藤 一也

表紙

題字 元東金市教育委員会教育長

鈴木 天

表紙 近藤 正

われらのふるさと 上総の東金

発行 平成 15 年 3 月 6 日

編集 東金市立東金図書館
発行者 〒283-0068
千葉県東金市東岩崎 1 番地 1
TEL 0475 (50) 1190
FAX 0475 (50) 1291

印刷 株式会社 太陽堂印刷所